

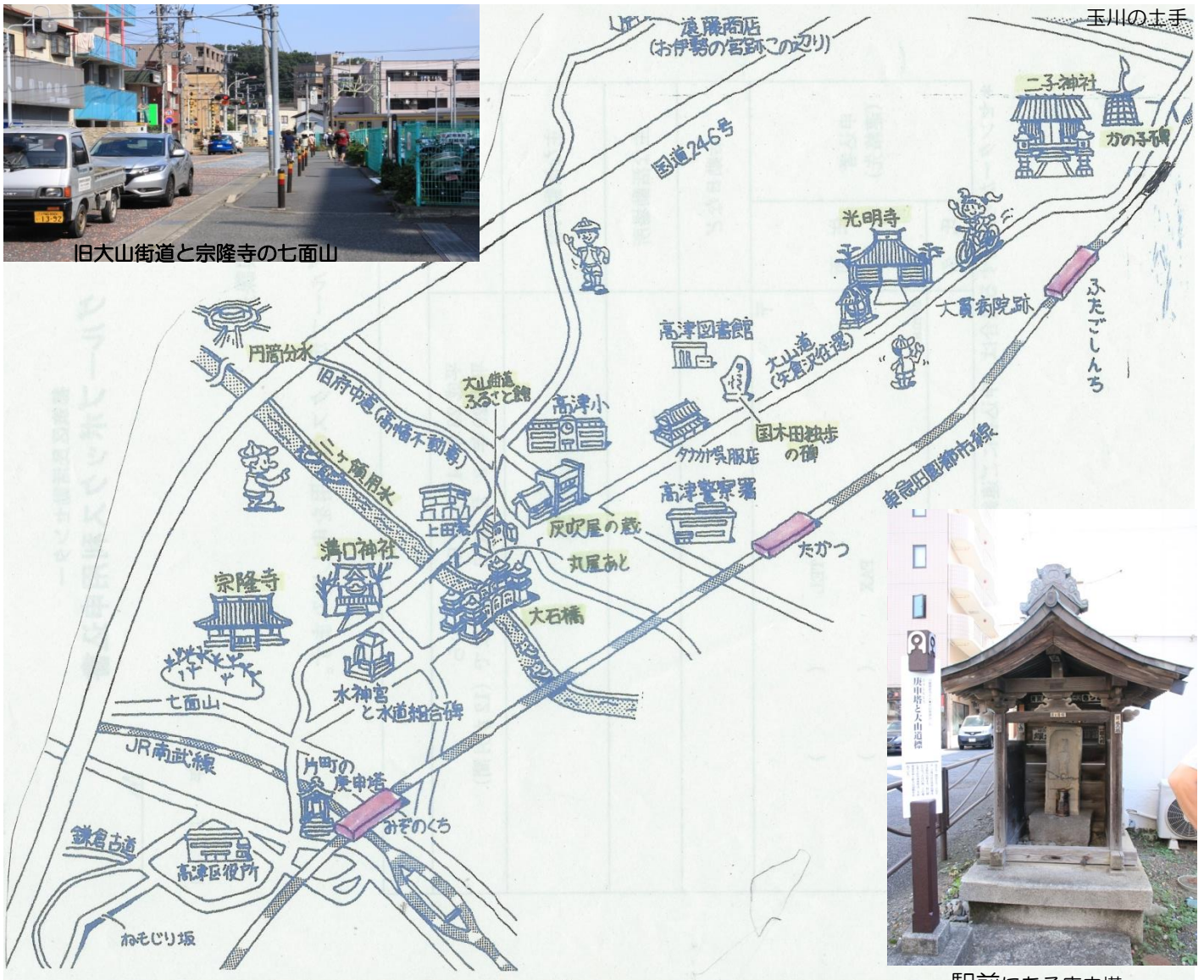
⑦ 旧大山街道 高津地区の探索

催行日 9月14日(水) 集合：田園都市線あざみ野駅改札口 9:00

あざみ野駅 ⇒ 溝の口駅(後方出口—高津区役所側出口より) ⇒ 片町の庚申塔 ⇒ 宗隆寺 ⇒ 溝口神社 ⇒ 大石橋 ⇒ 二ヶ領用水 ⇒ 円筒分水 ⇒ 府中街道(高幡不動尊) ⇒ 大山街道ふるさと館 ⇒ 灰吹屋の蔵・タナカヤ呉服店 ⇒ 国木田独歩の碑 ⇒ 光明寺 ⇒ 二子神社(岡本かの子碑) ⇒ 二子新地駅(田園都市線)解散



旧大山街道と宗隆寺の七面山



駅前にある庚申塔

溝の口駅の高津側出口より出て正面に走る通りを渡る手前の四つ角に片町の庚申塔があります。これは江戸時代の道しるべを兼ねたもので、「西は大山道、東江戸道、南神奈川道」と刻まれていて、ここが溝口から横浜に向かう入口だったことが分かります。またその直ぐ脇に陶芸家濱田庄司の生誕の地の碑が立っています。そして通りを渡ってJR南武線を超え栄橋(今は暗渠となっています)の交差点を渡ると左手に宗隆寺が見えてきます。



山門の手前に濱田氏の石碑があります。

「昨日在庵 今日不在 明日他行」

面白いですね！

宗隆寺を出ると直ぐに左手に溝口神社があります。神社を出て左に、すぐに右折して大山街道の出ます。すぐ先に大石橋があります。二ヶ領用水に沿って上流へ、246号線の陸橋を渡って歩くと円筒分水が現れます。この水は中野島と宿河原から引いた水を久地の分流桶に集め、水田の面積に応じて溝口、小杉、根方、川崎の四か所に分けていました。



宗隆寺山門と濱田庄司の石碑



二ヶ領用水と円筒分水



溝口神社



分水から右手に出て旧府中街道を川崎方面に右折、246号線を信号で渡って大山街道に戻ります。



左手奥に自由民権運動で活躍した上田家が、そして街道沿いに灰吹屋とタナカヤ呉服店がありますが、街道を少し戻ったところに「大山街道ふるさと館」があります。ここで少し休憩、資料などを頂きましょう。館長さんが色々と説明もしてくれます。



灰吹屋 と タナカヤ呉服店の新旧店舗

さて街道に戻りしばらく歩くと左手に高津図書館があり、その前に国木田独歩の碑があります。さらに進むと光明寺が左手に現れます。明治になって初めて学校ができたときには此処の本堂が教室となって「二子学舎」と呼ばれました。そこを拝観して直進すると突き当りが多摩川の土手です。その脇に二子神社と岡本かな子の碑が空に向かって輝いています。制作は岡本太郎、台座は丹下健三が設計したものです。



高津図書館の庭園



光明寺（二子学舎）の風景

【大山街道の概要】

徳川家康は江戸に入ると街道を整えました。初めに手を付けたのは五街道（東海道・中山道・甲州街道・奥羽街道・日光街道）です。これは幕府が公に認めた道で、道中奉行が管理をし、主に大名や武士が江戸を往復するために使われました。五街道以外の道は脇往還・脇街道に属し、五街道のような正式な名称はありません。二子・溝口村を通る大山街道も江戸時代に整えられた脇往還の一つで、主に江戸に物資を運んだり庶民の移動のために使われていました。

[岡本かな子の記念碑](#)→

